

外国語を駆使しながら、コミュニケーションを楽しむ児童の育成を目指して

浜松市立尾奈小学校 夏目千香子

1 本校の実態と外国語活動を進めるうえでの教師の願い

本校は、児童数51人の小規模校である。外国語活動は、5、6年生が行っている。6年生の児童は男子4人、女子5人である。英語教室に通っている児童が1人いる。ALTとのコミュニケーションでは、英語教室に通っている児童の助けを借りながら、自分の言いたいことを伝えようとしている。本学級の児童にとって、外国語活動は格好のコミュニケーション能力を高める場であると考えている。友達に自分のことを伝える場を多く設けたい。児童が自分から進んで外国語を駆使しながら、コミュニケーションできるよう様々な方法の伝え方を定着させたいと考えた。

2 実践内容

本校の研修では、浜松の教育の目指す子供の姿へ導く「4つの視点」に沿って授業を展開している。「4つの視点」から、実践した活動を分析していく。

今回の活動は、単元名「自分のできることを紹介しよう (Hi, friends! 2 Lesson 3 I can swim.)」で取り組んだものである。

(1) 「思考し、創り出す (創造)」の視点から

- ① 活動全体のめあてを提示して子供に意識を高める。

4つの視点「Big voice」「Eye to eye」「Warm Heart」「Smile」のカードを提示しておき、学習中に子供たちが意識できるようにした。教師がモデルとなり、率先して活動全体のめあてを意識して活動を行うことで、子供たちの中に安心感が生まれ、楽しんで活動する様子が見られた。



- ② 絵カードを提示して子供の手助けをする。

子供たちは絵カードを参考にしながら、自分のできることを答えることができていた。絵カードにより、安心して活動に参加する様子が見られた。

(2) 「自分を見つめる (自立)」の視点から

- 繰り返し行うことで自信をもって活動できる。

チャンツなどを友達同士から先生方との会話へと少しずつ形式を変えながら、繰り返し行うことで自ら進んで活動する姿が見られた。人と関わることで会話の始めには、「Hello」、終わりには「Thank you」の言葉を出す子供が多くいた。



(3) 「ともに生み出す (協働)」の視点から

- 学級経営が活動の手助けとなる。

積極的なコミュニケーションを図るためには、温かな学級づくりが不可欠である。日本語であっても英語であっても友達の話の聞こえようとする態度を養っておく必要がある。温かな雰囲気「英語で話したくなる。」「いろいろな人と会話したくなる。」といった意欲を高めさせていた。



(4) 「自分を見つめる」の視点から

- 振り返りの活動で、さらに温かい気持ちになる。

活動の終末には振り返りの活動を設けた。自分自身を振り返るだけでなく、友達の頑張りを記入させている。活動全体のめあてについても振り返った。振り返りには、「今日、「Warm Heart」で聞けていたのは、〇〇さんです。」「〇〇さんが一番「Smile」でした。」といった友達のよいところを認める感想もあった。子供たちが書いた振り返りは、発表してもらい全員で共有することができた。友達が自分のことを誉めてくれているときの子供の顔は大変うれしそうであった。また、前時の自分と現在の自分を比べて、「前よりも声が大きくなった。」と現在の自分を評価している子供もいた。



3 まとめ

事前研修、実践、事後研修を通して、外国語活動は、限られた言語で相手とどうコミュニケーションを図っていくかを試される活動だと感じた。教壇に立つ教師が、必ずしも外国語が堪能とは限らない。だからこそ、身振り、手振りで自分の考えや意思を相手に伝えようとする活動になってくるのではないかと考える。教師も考えようによっては、たくさんの言葉を使わずに、厳選した(限られた)言葉で子供に指示を出すことで、余分な言葉を使わない洗練された発問が生み出されるのではないかと感じた。その教師を見て、子供たちも「私たちもやってみよう。」「やってみたい。」という意欲につながっていったのではないと思う。学習中の「何とかして自分の考えを相手に伝えたい。」または「何とかして相手の考えを分かりたい。」と思う気持ちが学級づくりにもつながっていくのではないかと考える。

外国語活動 ふり返しカード

名前: [redacted] 6月15日

今日の活動

Can you ~?

今日の活動をふり返って、当てはまるところに○をつけましょう。

1	Big Voice でチャン스가できた。	OK.....Good.....Excellent
2	Eye to eye でゲームを楽しんだ。	OK.....Good.....Excellent
3	Warm Heart で友達の質問を聞くことができた。	OK.....Good.....Excellent
4	Smile で「できる人見付けゲーム」ができた。	OK.....Good.....Excellent

今日の授業で、学んだこと、気づいたこと、知ったことを書こう。

ふつうにゲームをしていても楽しいけど、あつのことを
 ● 心かけがからめると、もっと楽しくなることが分かりました。
 とまとってしまふことあったけど、相手の声を
 かけてくれたらいいのでうれしかったです。
 ● さんが一番 Smile だと思いました。
 BINGOの言葉に歌えたので良かったです。
 ● 先生はあつに進んでいきいっていいよ!
 zko smile っていうのがいい!